

研究課題「傍尿道腺の発生母地の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

研究対象は尿道憩室腫瘍に罹患した患者さんです。1993年5月1日から2015年12月31日の間に手術などにより病理検体から尿道憩室腫瘍と診断された患者さんの病理検体を使用し、免疫染色することにより傍尿道腺の発生母地を同定します。

2. 研究目的・方法

傍尿道腺とは尿道の周囲に存在している分泌腺です。傍尿道腺の発生はいまだにわからないことも多く、ここから発生する癌もまれではありますが存在しています。まれな腫瘍ということで症例数も少なく、研究も進んでいません。もし、傍尿道腺の起源を同定できたなら、尿道腫瘍の治療の幅が広がることが予想されます。尿道腫瘍を免疫染色することで、傍尿道腺の発生母地を検討し、尿道腫瘍を患い、治療した患者さんが、今後再発した時の治療法が広がる可能性があります。

一定の症例数が蓄積された段階で、匿名化した検体で免疫染色を行い、臨床情報との関係を調べます。研究期間は、実施承認日から2017年12月31日までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

生検標本、手術標本から作製された未染色プレパラート、および診療情報（年齢、検査結果、治療後の予後）。

4. 外部への試料・情報の提供

研究センターの名古屋大学医学部附属病院泌尿器科、および解析センター（愛知医科大学病理部）へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でいきます。

5. 研究組織

浜松医科大学泌尿器科学講座（大園誠一郎）、信州大学医学部泌尿器科（石塚修）、岐阜大学医学部泌尿器科（出口隆）、大阪労災病院泌尿器科（辻畑正雄）、自治医科大学附属さいたま医療センター泌尿器科（宮川友明）、愛知医科大学病理部（都築豊徳）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科 後藤百万（研究責任者）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL：052-744-2984

研究代表者：

名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科 後藤百万